

〔資 料〕

## ヴィーザー文庫の収蔵情況報告

桂木 健次・米原 俊孝

富山大学紀要. 富大経済論集 第59巻第2号抜刷（2013年11月）

富山大学経済学部

[資 料]

## ヴィーザー文庫の収蔵情況報告

桂木 健次・米原 俊孝

キーワード：ヴィーザー文庫，高岡高等商業学校，上原専禄

富山売薬業史史料集，卒業論文

### はじめに

『富大経済論集』No.58-1で取りまとめたヴィーザー文庫の収蔵情況について、その後の精査作業に於いて、ボックスごとの収蔵分類を違えた文献の所在が分かり、今までの時点での文庫と古書目録の比較を訂正する必要が出て来た。これを機会に、ほかの大学にも収蔵されている文献との照合作業を合わせて行い報告させていただくことにする。

旧制高岡高等商業学校（以下、高岡高商と略称）が昭和3年度（1928）文部省臨時部予算において「ヴィーザー文庫（Friedrich von Wieser Bibliothek）」を収蔵した経緯について、上原専禄（当時教授）が関わっていることはほぼ確定できるが、なぜ同文庫が選定されたのかについてはいまだ明らかではない。

彼が、ウイーン大学留学から帰国後直ぐに恩師三浦新七（東京商科大学）からの指図で、高岡高商へ教授職で赴任してきたのは大正15（1926）年4月のことで、昭和3（1928）年3月に東京商科大学に転任するまでは図書課長に任じられていた<sup>1)</sup>。同文庫は、3年度予算（学校及図書館特別会計臨時部3,852,740円）<sup>2)</sup>から賄われたと推察できるので、年度経理での収蔵は翌4年（1929）3月までとされよう。そして、庶務課長担当教授の土生滋穂から上原へ予算執行の依頼があり、昭和2（1927）年に、留学中懇意だった書店 Höfels, S&H, Deuticke との伝手がなされたことは山田定平の証言に残されている<sup>3)</sup>。その

依頼に当ヴィーザー文庫が含まれていたと考えられる。

文庫収蔵の経過について、当経済論集 No.58-1(2012.8)以降の作業進捗に係ってその経緯に関して少し加筆しておく。当文庫には、分類項目ごとの収蔵ボックスにおいて "Bank, Börse" と "Bevölkerungswesen" に混配があったが、それはボックス毎に前後して分割送付されてきたための誤りかと想像される。また、文庫は他の高商蔵書と別にカードが作成されていた。これは、収蔵当時から文庫として収蔵・保管する方針ではあったものの、収蔵の意図としては創立間もない官立高商の蔵書を充実させるためではないかと思われる。

しかしながら、なぜ選定された図書がヴィーザー文庫でなければならなかったかという証左はいまだ得られていないが、『富山大学経済学部五十年史』に、小寺廉吉が「高商の貴重な学術図書が無瑕で転換工専に保管されていたのは、何よりだった。」と記している<sup>4)</sup>。

そのなかに当文庫も含むのは当然で、1937年から1942年まで調査課長、1942年から離任する1944年3月まで図書課長の任にあった城宝正治は、砺波中学、小樽高商、東京商大卒で、昭和2年4月高岡高商に着任し昭和5（1930）年からのウィーン留学では、上原と同じアルフォンス・ドーブシュ Dopsch, Alfons 研究室に入り、ハイエク学位論文の副査であったシュパン Spann, Othmar の経済学も聴講、帰国後は『富山売薬業史史料集』の編集を上原から引き継いでいる。

## 1. ヴィーザー文庫収蔵期における時代課題

本節では、当時の時代状況に照らして、当文庫に収蔵されている文献の意義について時代課題の面から一考してみたい。

ヴィーザー文庫が高岡高商に収められた昭和初期の時代背景は、明治30年代から大正初期にかけて日本資本主義が伸長し、高等教育機関も大発展期で

あった。また、そのための教員養成も急を要し多くの研究者が海外留学の機会を得ていた。

以下、『富山大学経済学部五十年史』（昭和 53 年 8 月富山大学経済学部・越嶺会発行）より摘記する。

明治 17 年（1884）3 月農商務省は東京府から商法講習所を移し、直轄の東京商業学校とした。文部省も同時に東京外国語学校に高等商業学校を附設した。明治 18 年（1885）東京商業学校は文部省に移管され、高等商業学校を吸収して神田一ツ橋で授業を開始した。さらに明治 20 年高等商業学校と校名を復した。明治 30 年それに専門部が置かれた。

明治 32 年（1899）に「実業学校令」が公布され、35 年には第二高商として神戸高等商業学校が設立され、従来のものを東京高等商業学校と称することになった。

翌明治 36 年（1903）には「専門学校令」が出て、大阪市立商業学校が大阪市立高等商業学校に昇格した。続いて、明治 38 年（1905）には山口、長崎に、43 年（1910）には小樽に、それぞれ第三、四、五の高等商業学校が新設された。

これらの高等商業学校は、東京、広島的高等師範学校や、第一から第八までの高等学校、その他いくつかの専門学校と合わせて文部省直轄諸学校と総称され、一括して官立高等専門学校と称する高等教育の府が明治末期に確立された。

次いで、大正 3 年（1914）に勃発し 7 年（1918）に終結した第一次世界大戦の結果、日本資本主義は第 2 回目の飛躍的發展と国際貿易伸長期となり、多くの人材が要求されるようになった。

そこで大正 6 年（1917）、寺内内閣が組織した臨時教育会議は、7 年に高等教育改善案を作成した。これを受けた原内閣は各方面の強い支持を受けながら高等教育機関の一大拡張計画を実施し始めた。

先ず、大正 7 年（1918）に新大学令を公布。東京高等商業学校を東京商科大学に昇格（大正 9 年に実現）させるとともに北海道帝国大学を新設し、8 年

(1919)には京都帝国大学に経済学部を新設し、東京帝国大学にも経済学部を独立させ、同時に文部省内に実業学務局が設置された。

当時の文部大臣は大阪商船社長の経歴を持ち高等教育推進の主唱者であった中橋徳五郎であり、各府県に少なくとも一つの高等専門学校を設置しようとの構想を固め、次の高橋内閣にも留任して大正 11 年 (1922) 半ばまで腰を据えてその実現を図ったのであった。

予算の裏付けは、大正 7 年 (1918) の帝国議会に 4453 万円の追加予算を提出、大正 8 年 (1919) から 13 年 (1924) 度に至る 6 カ年の間にその実現を期することとした。追加予算の内訳は、1000 万円は天皇からの内帑金(御下賜金)、残りは公債及び借入金であった。

大正 9 年 (1920) に第六高商として名古屋に、同 10 年 (1921) に第七高商 (福島)、第八高商 (大分)、同 11 年 (1922) に第九高商 (彦根)、第十高商 (和歌山)、同 12 年 (1923) に第十一高商 (横浜)、第十二高商 (高松)、最後に同 13 年 (1924) に第十三高商として高岡高商が設置されたのであった。

北陸地方について、高等商業は高岡市に、高等工業は福井市にと割り当てられた。高岡設置については原内閣の南弘文部次官が地元高岡市の出身であり公私ともに多大の尽力があったことも大きな要因であり、「高岡高商生みの親」でもあった<sup>5)</sup>。

なお付記すれば、同年大正 13 年 (1924) 4 月富山高等学校が第 1 回入学式を举行し、また、金沢では明治 20 年 (1887) に第四高等中学校が設立され、明治 27 (1894) 年の高等学校令により第四高等学校と改称、大学予科 (修業年限 3 年。のち文科・理科よりなる高等科に改称) および医学部が設置された。

#### [ 参考 ]

明治 19 (1886) 年に帝国大学令

明治 27 (1894) 年に高等学校令

明治 32 (1899) 年に実業学校令

明治 36 (1902) 年に専門学校令

大正 7（1918）年に新大学令（単科大学，公私立大学認可）

大正 7（1918）年に第 2 次高等学校令<sup>6)</sup>

高岡高商は先にも触れたように昭和 19 年(1944)に工業専門学校へ転換され、高商の在學生は、卒業に至るまで、併設の経済専門学校學生として残ることとなったため、諸文献などの資産はそのまま図書館などに保存されて、和書は高岡高商図書分類から日本十進分類法に変更し、高岡工專の図書ラベルが貼られた。

ヴィーザー文庫は、昭和 3 年度の臨時部予算を充てて、上原の照会によって留学時懇意の書店より購入されたと推定されるのであるが、それは東畑精一がボン大学留学中に書店から紹介されたカタログに掲載されていた古書目録のものに照応していた。

収蔵されてからの教官並びに學生による当文庫の活用記録が記されたものは今までのところ確認されていない。収蔵文献は当時日本の政策課題に関連した内容を擁してはいないからか書庫の奥に収蔵されていたのであろう。

高岡高商が時代課題にどのように向かわざるを得なかったかについては、『高岡高等商業学校史』には記載されなかった『研究活動史』稿ほかに詳しい<sup>7)</sup>。活字にされていないことを少し紹介しておく。

大正 15 年（昭和元年の 1926）当校に調査課が設置され、資料収集、新聞切抜き、基礎的事業のほか、開校記念に向けた『富山売薬の研究』が昭和 2 年（1927）に始まり、同 4 年（1929）に矢口課長となってから研究体制は、そのほかに「地方産業の研究」として事項別に主任教授を任命し拡充された。

上原が係った「富山売薬産業史研究」は、調査課として高岡高商「創校記念事業」として立ち上がって行った重点事業であって、**5. 売薬業について『富山売薬業史史料集』の刊行（1935 年 3 月）**にみるように委員長を校長として全教員を網羅して上原専禄がその中心に、城宝が「中核」に、上原転出後はそ

の任をひきついで、昭和 10 年（1935）の「開校十周年式」に記念出版物として刊行に至っている<sup>8)</sup>。

なお、昭和 2 年（1927）から転換の同 19 年（1944）まで在任し戦後復職して同 36 年（1961）退職の土生滋穂「回顧」の記によると「富山売薬」は経済・商業・法律の各方面から採り上げられることになっていたが、昭和 12（1937）年 7 月日支事変勃発に続く一連の動きは学園に戦時色が加わることとなり、その一部が史料集として出版されるに止まり、3 冊だけの刊行に終わった「高岡高商研究叢書」同様に共同研究としては「研究挫折」であったようである<sup>9)</sup>。

図表 1 ヴィーザー文庫収蔵を取り巻く動向表

		事 件	人 物		機 関	
			中山伊知郎・東畑精一	大熊・上原	東京商科大（一橋）	高岡高商（富大経済）
大正12	1923	関東大震災	中山東京商大助手拝命	上原ウィーン大留学	メンガー文庫海路日本着荷	高岡高商設置
	1924					
	1925					
昭和1	1926	鈴木商店債権発生	東畑米留学	上原帰国	メンガー文庫目録Ⅰ	開校式典：福田徳三講演
	1937	高橋是清蔵相，モラトリウム実施勅令	中山留学	大熊高商就任		
	1928	イタリア金輸出解禁，仏金本位復帰	東畑ボン大留学，中山と会う	上原離任→東京商大		
	1929	世界大恐慌，井上蔵相金解禁省令	中山春に帰国，東畑10月ボンを離れる	大熊留学：英・独・米		
	1930					
昭和5	1931	満州事変，英金本位離脱，犬養首相・高橋蔵相			F.v.Wieser Bibliothek:昭和4年4月25日受入印	城宝ウィーン大留学
	1932	国債発行日銀引受				
	1933	ヒトラー独首相就任				
	1934	帝人事件				
	1935	高橋蔵相：公債漸減方針				
昭和10	1936	2.26 事件（高橋蔵相ら暗殺）				



## 2. 昭和初期における旧制高校ほかの欧州文献収蔵情況

大正から昭和初期にかけて、東畑精一をはじめとする欧州への国費留学者に限らず、家督からのマイスター研修留学を命じられた二代目長谷川與吉（名古屋の長谷川時計舗主）のような人士に至る研修生が私費によって購入し持ち帰った文庫・資料類が多くあった。フランス留学の手塚寿郎小樽高商教授の購入したフランス経済学者シェル *Gustave Schelle* (1845-1927) の旧蔵書や、大塚金之助が手付けた東京商科大学のメンガー文庫のように校費が宛がわれて、或いは長谷川文庫のように寄贈等により、または高岡高商のヴィーザー文庫のように文部省から各校に充てられた臨時部予算によってであれ、その多くは全国津々浦々の大学並びに高等教育校の図書室に収蔵された。

それらは、世界的に著名な 18 世紀中期から 19 世紀初頭にかけての多くの学者の原典がほぼ完全に収められているものも多く、世界的にも数少ない貴重文献となっている。

図表2 海外から日本の高等教育機関等に収蔵された洋書文庫：大正・昭和初期を中心にして

所蔵大学 文庫名	旧蔵者	収蔵機関 経緯	収蔵時期	分野	冊数	目録	備考
東京大学 エンゲル文庫	エルンスト・エンゲル (Ernst Engel, 1821-1896) ドイツの統計学者	東京帝国大学 高野岩三郎 (1871-1949) の努力で購入	明治 33 (1900) 年	経済統計書類	5,200冊 (1,126冊)	Classified catalogue of Engel's library / Library, Faculty of Economics University of Tokyo, 1984	大正 12(1923) 消失 (法学部研究室), 1126 冊は消失を免れる
東京大学 マックス・ミュラー文庫	フリードリヒ・マックス・ミュラー (Friedrich Max Muler, 1823-1900) 東洋学・言語学者 オックスフォード大学教授	東京帝国大学 ミュラー没後、イギリス留学中に師事した高楠順次郎 (1866-1945) の希望により岩崎久弥が寄贈	明治 34 (1901) 年頃	東洋学	約10,000冊		大正 12(1923) 消失
東京大学 デルンブルク文庫	ハインリヒ・デルンブルク (Heinrich Dernburg, 1829-1907) ローマ法・ドイツ法 学者 ベルリン大学教授	東京帝国大学	明治 41 (1908) 年	ローマ法	約6,000部	Katalog der Dernburgs Bibliothek in der Kaiserlichen Universitäts-Bibliothek zu Tokyo 東京帝国大学附属図書館 (Kaiserliche Universitäts-Bibliothek zu Tokyo), 1916	大正 12(1923) 消失 (法学部研究室)
一橋大学 レキシス文庫	ヴィルヘルム・レキシス (Wilhelm Lexis, 1837-1914) ドイツの経済・人口統計 学者 ゲッティンゲン大学教授	東京商科大学 如水会が購入寄贈	大正 4 (1915) 年		193冊		文庫調査委員会の調査結果により、小冊子全部と貴重で図書館に所蔵していないものを収蔵
東京大学 コーラー文庫	ヨーゼフ・コーラー (Josef Kohler, 1849-1919) ドイツ法・比較法学者 ベル リン大学教授	東京帝国大学 織田昇次郎寄贈	大正 9 (1920) 年	法律書	約18,000冊	1 部はコーラー未亡人, 2 部は日本で出版前に消失	大正 12(1923) 消失
東京大学 アダム・スミス文庫	アダム・スミス (Adam Smith, 1723-1790) イギリスの経済学者	東京帝国大学 1920 年ロンドン古書店より新渡戸稲造教授が購入, 経済学部独立 を祝って寄贈	大正 9 (1920) 年	哲学・文学, 政治学, 地理・歴史関係 など	308冊	Catalogue of Adam Smith's Library : in the possession The University of Tokyo, 岩波書店, 1951	
東京大学 リッベルト文庫	フーゴ・リッベルト (Hugo Ribbert, 1855-1920) ドイツの病理学者 ボン大 学教授	東京帝国大学		病理学を中心とした医学の古典的著 作・文献	900冊	Ribberts Bibliothek( 稿本 )	
東京大学 ワルダイエル文庫	ヴィルヘルム・フォン・ワルダイエル＝ハルト (Wilhelm von Waldeyer-Hartz, 1836-1921) ドイツの 解剖学者 ベルリン大学教授	東京帝国大学 ドイツ留学中ワルダイエルに師事した東京大学医学部教授小金井 良精 (1858-1944) がワルダイエルの遺族から蔵書の処分について 相談を受け大学が購入	大正 10 (1921) 年	解剖学者書・文献 (動物学・人類学 関係書も含む)	2,000冊	ワルダイエル文庫目録	
東京大学 ノイベッカー文庫	フリードリッヒ・ノイベッカー (Friedrich Karl Neubecker, 1872-1923) ドイツの歴史 学者 イギリス法制史研究	東京帝国大学 ドイツ留学中の我妻栄の交渉を経て購入決定	大正 13 (1924) 年	ドイツ民法の基礎的文献の他に 19 世 紀末から 20 世紀初頭のロシアやスカ ンジナビアの貴重な文献	約1,900冊 (約6,000冊)	ノイベッカー文庫目録	蔵書は6千冊を超えたが、 大部分は震災で焼失した基 本文献の代替として再分類 された
一橋大学 ギールケ文庫	オットー・フォン・ギールケ (Otto v. Gierke, 1841-1921) ドイツ歴史法学者 ベルリ ン大学教授	東京商科大学 図書館長三浦新七の依頼によりドイツ留学中の孫田秀春が購入手 配, 校費と寄付金により支払	大正 10 (1921) 年	ゲルマン法, 政治学, 経済学, 社会学 等の文献	約10,000冊	Katalog der Otto von Gierke-Bibliothek in der Handels- Universität Tokio 東京商科大学附属図書館 オットーフォンギールケ文庫目録 Tokio : Bibliothek der Handels-Universität Tokio, 1930.	大正 13(1924) 年に重複文献 144 件を東京帝国大学へ譲 与
一橋大学 メンガー文庫	カール・メンガー (Carl Menger, 1840-1921) オーストリア学派経済学者 ウィーン大学教授	東京商科大学 ドイツ留学中の大塚金之助等が図書館長三浦新七の理解を得て購 入手配, 校費と寄付金により支払	大正 11 (1922) 年	経済学・社会思想の古典, ヨーロッ パの十数ヵ国語にわたる周辺諸学及 びメンガー書き入れ, 自筆ノート, 書 簡などのドキュメントやマニエスク リプト	約15,000冊	Katalog der Carl Menger-Bibliothek in der Hitotsubashi- Universität. 東京商科大学附属図書館 カール・メンガー 文庫目録, 1926 一橋大学附属図書館カール・メンガー文 庫目録・2, 1955	大正 13(1924) 年に重複文献 44 件 80 冊を東京帝国大学 へ譲与
東北大学 ヴント文庫	ヴィルヘルム・ヴント (Wilhelm Wundt, 1832-1920) 心理学・哲学者 ライプ チヒ大学教授	東北帝国大学 京都帝国大学助教授で、帰国後心理学教室の初代教授就任が内定 していたドイツ留学中の千葉胤成の奔走により獲得 斎藤報恩会 の援助も得て購入、ヴントの後任教授クリューガー (Felix Krueger) の希望で一部の書籍をライプチヒ大学に寄贈	大正 11 (1922) 年	心理学・哲学関係を中心に、幅広い 学問分野の資料	15,840冊	Catalogue of the W. Wundt Library, 1923	
小樽商科大学 シュェル文庫	ギュスターヴ・シュェル (Gustave Schelle, 1845-1927) フランス経済学者 重 農派研究	小樽高等商業学校 フランス留学中の手塚寿郎教授入手	大正 12 (1923) 年	18 世紀中期経済学者の原典	1,269冊	Catalogue de la bibliothèque du professeur Gustave Schelle de l'Université du commerce d'Otaru, 1962 シェ ル文庫目録	
東北大学 シュマルソー文庫	アウグスト・シュマルゾー (August Schmarsow, 1858-1936) ドイツ美術学者 ラ イプチヒ大学教授	東北帝国大学 ドイツ留学中の阿部次郎教授入手	大正 12 (1923) 年	美学	1,232冊	Catalogue of the A. Schmarsow Library : Alphabetically Arranged Under Author's Names / Belonging to the Library of the Tohoku Imperial University, 1923	文庫として別置ではなく、 一般資料と混配
京都大学 ビュッヒャー文庫	カール・ビュッヒャー (Karl Bucher, 1847-1930) ドイツ歴史学派経済学者 ラ イプチヒ大学教授	京都帝国大学 1920 年ライプチヒのフォック書店より大学へ電報岩崎小弥太寄贈	大正10 (1921)年に到着 大正13 (1924)年受入	経済学, 社会学, 新聞学等, 広範囲に わたるコレクション	約11,500冊	ビュッヒャー文庫目録, 1970	

図表2 海外から日本の高等教育機関等に収蔵された洋書文庫：大正・昭和初期を中心にして

所蔵大学 文庫名	旧蔵者	収蔵機関 経緯	収蔵時期	分野	冊数	目録	備考
一橋大学 村瀬文庫	村瀬春雄 (1871-1924) 海上保険学の泰斗 欧州留学 (1889-1993) 帰国後高等商業学校教授 その後保険会社勤務の傍ら講師を務める	東京商科大学 1921年に母校の東京商科大学に蔵書1万冊が寄贈されたが1923年(大正12年)の関東大震災により焼失。その後、震災直前に完成していた保険書約2,800冊の目録を基に欧州留学中の教官により再収集	大正10(1921)年 再収集第1回目受入 昭和2(1927)年	海上保険に関する各国の古典、稀観書を多く含む	洋書2405冊 和書475冊	村瀬文庫保険書籍目録, 1923 村瀬文庫目録, 1928	
東北大学 チーテルマン文庫	エルンスト・チーテルマン (Ernst Zitelmann, 1852-1923) ドイツの法学者 ボン大学教授	東北帝国大学 ドイツ留学中の法文学部民法教授石田文次郎が入手	大正13(1924)年	フランスの法学者クヤキウス (1522-1590) の全集などを含む	8,280冊	チーテルマン文庫目録, 1936	5千冊余りの小冊子を含んでいたが、整理中にゼッケル文庫のパンフレットとともに昭和20年の戦災で焼失
東京大学 ヒルシュフェルト 旧蔵本	オットー・ヒルシュフェルト (Otto Hirschfeld, 1843-1922) ドイツの歴史学者 ベルリン大学教授	東京帝国大学 購入		欧州古代史古典文学関係文献	5,700冊	ヒルシュフェルト文庫目録 [総合図書館参考室備付]	
東京大学 メンガー文庫	カール・メンガー (Carl Menger, 1840-1921) オーストリア学派経済学者 ウィーン大学教授	東京帝国大学 東京商科大学メンガー文庫から同大附属図書館重複文献を購入	大正13(1924)年	経済学を中心とする社会科学関係文献	80冊	東京大学経済学部所蔵カールメンガー旧蔵書マイクロ版集成リールガイド、丸善、[1994]	
東京大学 木内文庫	クーノー・フィッシャー (Kuno Fischer, 1824-1907) ドイツの哲学者 ハイデルベルク大学教授	東京帝国大学 木内重四郎 (1865-1925) 旧蔵の寄贈	大正13(1924)年	カントの著作を中心としたドイツ哲学図書	411部 483冊		
名古屋大学 長谷川文庫		名古屋高等商業学校 名古屋の長谷川時計舗主、長谷川興吉がライブチヒのオフ書店で購入し寄贈	大正13(1924)年	人文・社会・自然科学の全分野に及ぶ17世紀から20世紀にわたるドイツの学位論文	82,120冊	長谷川文庫目録, 1991-1992	
東京大学 河本文庫	ユリウス・ヒルシュベルグ (1843-1925) ベルリン大学眼科教授	東京帝国大学 河本重次郎がドイツ留学中に教えを受けたベルリン大学の眼科教授ユリウス・ヒルシュベルグから1921年頃に譲り受けた蔵書を震災後に寄贈	大正14(1925)年	眼科、解剖学関係文献	15,700冊	河本文庫目録：旧ヒルシュベルグ蔵書, 1936	
東京大学 ライン文庫	ヨハネス・ユストウス・ライン (1835-1918) ドイツの地理学者 ボン大学教授	東京帝国大学 ライブチヒの古書店より勧誘が7リ、門下の山崎直方の要請により購入	大正14(1925)年	日本地理関係の文献	576冊		
成城大学 ナトルプ文庫	パウル・ナトルプ (Paul Natorp, 1854-1924) ドイツの哲学者 マールブルヒ大学教授	成城学園 学園当局者の熱意と澤柳小西両博士と個人との個人的関係によりナトルプ夫人より譲与	大正14(1925)年	哲学、教育学関係を中心に、宗教、心理、歴史、自然科学など	4,454冊	Bücherverzeichnis der Bibliothek Paul Natorp ナトルプ文庫目録, 1938	
東北大学 ゼッケル文庫	エミール・ゼッケル (Emil Seckel, 1864-1924) ローマ法学者 ベルリン大学教授	東北帝国大学 遺言執行人テオドル・キップ教授の口添えと東北帝国大学法文学部教授・栗生武夫らの尽力により大正15年(1926)に受入決定	大正15(1926)年	16世紀に始まり現代にいたるまでのローマ法、教会法、ドイツ法にかなする文献が多数 民法・刑法・行政法・政治学などにかんする文献	7,380冊	A catalogue of the Dr. Seckel collection (本館所蔵特殊文庫・洋書ノ部) Tohoku Imperial University Library, 1935 ゼッケル文庫目録、(東北大学附属図書館所蔵特殊文庫目録シリーズ, 4) 1982	約1万点といわれた小冊子類は昭和20年に製本のため館外にあったところを空襲により焼失
東北大学 シュタイン文庫	フリドリヒ・シュタイン (Friedrich Stein, 1859-1923) ドイツ民事訴訟法学者 ライプチヒ大学教授	東北帝国大学	大正15(1926)年	民法、商法、民事訴訟法、破産法、刑法等法律全般に関する図書、雑誌、小冊子	6,810冊	A catalogue of the Dr. Stein collection (本館所蔵特殊文庫・洋書ノ部) [Tohoku Imp. University Library], [1936]	
九州大学 グロス文庫	グスタフ・グロス (Gustav Grosz) オーストリアの政治家・経済学者	九州帝国大学	大正15(1926)年		2,800冊		文庫印、混排
九州大学 ロートマル文庫	フィリップ・ロートマル (Philippe Lotmar, 1850-1922) スイスの法学者 ベルン大学総長	九州帝国大学 留学中の井口孝親助教授より購入	大正15(1926)年	ローマ法、民事法、労働法、法哲学等立法的法律分野の資料	990冊	九州大学法学部所蔵ロートマル文庫目録, 1999	文庫印、混排
九州大学 バルト文庫	パウル・バルト (Paul Barth, 1858-1922) ドイツの哲学者 ライプチヒ大学教授	九州帝国大学 城戸幡太郎 (1893-1895) が、渡欧中1922年にバルト夫人と直接交渉、その後佐久間鼎を通じて購入	大正13-昭和2(1924-27)年		3,922部 13,720冊		文庫印、混排
九州大学 シュトゥンプ文庫	カール・シュトゥンプ (Carl Stumpf, 1848-1936) ドイツの哲学・心理学者 ベルリン大学教授	九州帝国大学 ベルリン大学教授カール・シュトゥンプが1921年退官の際に大学に残した蔵書を、心理学研究室の創設者佐久間鼎 (1988-1970) が一括購入して九州大学心理学教室の図書として活用。佐久間は留学中(1923-25)ベルリン大学で、シュトゥンプ文庫を整備	大正13-昭和2(1924-27)年		2,044部 3,875冊		文庫印、混排

図表2 海外から日本の高等教育機関等に収蔵された洋書文庫：大正・昭和初期を中心にして

所蔵大学 文庫名	旧蔵者	収蔵機関 経緯	収蔵時期	分野	冊数	目録	備考
九州大学 井口教授旧蔵本	井口孝親 (1888-1932) 大阪朝日新聞記者、『我等』編集、外務省嘱託、大正12年から文部省在外研究員として欧州出張、留学中(大正14年)に九州帝国大学助教授に任命、病氣療養のためスイスに長期滞在し昭和4年に帰国	九州帝国大学 スイス療養中の蔵書を購入、没後に購入・寄贈	大正15 (1926) 年 昭和7-8 (1932-33) 年		1,701冊		文庫印、混排
東京大学 プロイス文庫	フーゴー・プロイス (Hugo Preuß, 1860-1925) ドイツの公法学者 ベルリン大学教授	東京帝国大学 ドイツ賠償金買入	昭和2 (1927) 年	公法・行政法・政治学関係文献	約2,285冊		
東京海洋大学 ファルケンベルク文庫	パウル・ファルケンベルク (1848-1925) ドイツの植物学者 ロストック大学教授	水産講習所(農商務省) 大正8(1919)年より非常勤講師をしていた恩田経介が一時費用を立て替え、丸善より購入	昭和2 (1927) 年	植物学関係の洋書、別刷、洋雑誌	982冊	Catalogue of the Phycological Bibliography in the Library of the Imperial Fisheries Institute, 1938 ファルケンベルク文庫総目録, 2009( <a href="http://lib.s.kaiyodai.ac.jp/library/maincollection/falkenberg-bunko.html">http://lib.s.kaiyodai.ac.jp/library/maincollection/falkenberg-bunko.html</a> )	
法政大学 エルツバッハー文庫	パウル・エルツバッハー (Paul Eltzbacher, 1868-1928) ドイツ法学者 ベルリン商科大学教授	大原社会問題研究所 1920年代前半に大原社会問題研究所の研究員としてドイツに留学した榑田民蔵と森戸辰男が、エルツバッハーから譲り受け1万1348円で購入	昭和4 (1929) 年頃	無政府主義に関する図書、パンフレット	洋書1,150冊 雑誌103種	大原社会問題研究所雑誌, 7巻2-3号, 1930	
法政大学 ハースバハ文庫	ウィルヘルム・ハースバハ (Wilhelm Hasbach, 1849-1920) ドイツの経済学者 キール大学教授	大原社会問題研究所 榑田民蔵が1921年に購入		クーゲルマン(Dr. Kugelmann)蔵書を含む経済学文献	1,400点		
法政大学 ディートリヒ文庫		大原社会問題研究所 1130円33銭5厘で購入					
一橋大学 左右田文庫	左右田喜一郎 (1881-1927) 経済学者・経済哲学 欧州留学(1904-1913) 東京高等商業学校講師 左右田銀行頭取 貴族院議員	東京商科大学 大正10年に譲り受けたファイヒンガー文庫を含む蔵書を大正12年の震災で焼失。その後蒐集されたものが没後東京商科大学に譲渡	昭和4 (1929) 年受入	カント哲学を中心とする文献	約8,000冊	Katalog der Soda Kiichiro-Bibliothek in der Handels-Universität, 東京商科大学附属図書館 左右田文庫目録, 1942	ファイヒンガー文庫 ファイヒンガー(Hans Vaihinger, 1852-1933)ドイツの哲学者 カント文献学者
京都大学 マイヤー文庫	ゲオルク・フォン・マイヤー (Georg von Mayr, 1841-1925) ドイツの統計学者 ミュンヘン大学教授	京都帝国大学経済学部 ドイツ賠償金1万6千マルク(邦貨約1万4千円)で入手	昭和4 (1929) 年	ヨーロッパ各国の統計・調査資料および各種統計学雑誌	約15,000冊	Katalog der Bibliothek des Dr. Georg von Mayr, 1933 Mayr 文庫目録(予備版), 1985	
大阪市立大学 ゾンバルト文庫	ヴェルナー・ゾンバルト (Werner Sombart, 1863-1941) ドイツの経済学・社会学者 ベルリン大学教授	大阪商科大学(大阪市立大学) 大阪市立高等商業学校から大学へ昇格(1928年)直後に、ゾンバルト生前に売却された蔵書の一部を14万307マルク(邦貨7万円余り)で購入	昭和4 (1929) 年	経済学, 社会主義関係	約11,574冊	大阪市立大学附属図書館所蔵ヴェルナー・ゾンバルト文庫目録, 1967	
富山大学 ヴィーザー文庫	フリードリヒ・フォン・ヴィーザー (Friedrich von Wieser, 1851-1926) オーストリア学派経済学者 ウィーン大学教授	高岡高等商業学校 Handapparat F.v.Wieserとして古書目録に掲載されたものを入手	昭和4 (1929) 年受入	経済・財政・統計・社会学分野の抜刷、学位論文など	1,554件 1,593冊		
大阪市立大学 福田文庫	福田徳三 (1874-1930) ルーヨ・ブレンターノ (Lujo Brentano, 1844-1931)	大阪商科大学 福田が大正13(1924)年にブレンターノ旧蔵書7,000冊を同文館立替で入手したものを含む福田の全蔵書を購入	昭和6 (1931) 年	経済学, 政治学, 法学, 哲学, 宗教学, 歴史学	和書22,800冊 洋書22,041冊	[福田徳三蔵書目録]	
京都大学 ターナー文庫	フリードリヒ・ターナー (Friedrich Thaner, 1839-1915) ドイツの社会法学者 グラーツ大学教授	京都帝国大学法学部 第一次大戦ドイツ賠償の一部 大蔵省から京都帝国大学に移管され法学部に受入	昭和6 (1931) 年移管 昭和7 (1932) 年受入	ドイツ教会法に関する図書	2,643冊	Katalog der Friedrich Thaner Bibliothek in der Juristischen Fakultät der Universität Kyoto, 1976	
京都大学 トゥール文庫	アンドレアス・フォン・トゥール (Andreas von Tuhr, 1864-1925) ドイツの民法学者 チューリヒ大学教授	京都帝国大学法学部 第一次大戦ドイツ賠償の一部 大蔵省から京都帝国大学に移管され法学部に受入	昭和6 (1931) 年移管 昭和7 (1932) 年受入	19世紀から20世紀にかけて出版された歴史法学以降の私法関係の図書	1,933冊	Katalog der Andreas von Tuhr Bibliothek in der Juristischen Fakultät der Universität Kyoto, 1976	
京都大学 ハチェック文庫	ユリウス・ハチェック (Julius Hatschek, 1876-1926) ドイツの公法学者	京都帝国大学法学部 第一次大戦ドイツ賠償の一部 大蔵省から京都帝国大学に移管され法学部に受入	昭和6 (1931) 年移管 昭和7 (1932) 年受入	19～20世紀の公法関係図書 ドイツ語のほか、英語、フランス語などの文献が含まれる	2,113冊	Katalog der Julius Hatschek Bibliothek in der Juristischen Fakultät der Universität Kyoto, 1976	
東北大学 榑田文庫	榑田民蔵 (1885-1934) マルクス経済学者	東北帝国大学 大原社会問題研究所所属の榑田が、大正9-11年(1920-22)ドイツに派遣されて収集 榑田の死後、当時東北帝国大学法文学部助教授宇野弘蔵の奔走で購入	昭和10-12 (1935-37) 年度受入	社会科学, 社会問題, 労働問題関係の文献	洋書1,785冊 和書1,064冊	榑田文庫目録, 1981	
大阪市立大学 ローゼンベルク文庫	レオ・ローゼンベルク (Leo Rosenberg, 1879-1963) ドイツの法律学者 ライプツィヒ大学教授	大阪商科大学 ローゼンベルクがナチの弾圧を受けてライプツィヒ大学を追われたのち手放したと思われる蔵書を、1936年から1938年にかけて書店を通して購入	昭和11-13 (1936-38) 年	民事訴訟法を中心とした法学関係の文献	4,906冊 (叢書・雑誌約1,300冊、 単行本約1,500冊、 学位論文約2,000冊)	大阪市立大学附属図書館所蔵レオ・ローゼンベルク文庫目録, 1968	



図表2 海外から日本の高等教育機関等に収蔵された洋書文庫：大正・昭和初期を中心にして

所蔵大学 文庫名	旧蔵者	収蔵機関 経緯	収蔵時期	分野	冊数	目録	備考
東京大学 ラーデル文庫	ヨハネス・ラーデル (Johannes Rahder, 1898-1988) オランダの東洋学者 ライデン大学教授	東京帝国大学 第二次世界大戦勃発後、戦禍を懼れ寄贈	昭和 15 (1930) 年	インド哲学、サンスクリット文学、欧 米哲学関係の文献	1,300冊		
東京大学 リーベルマン(リー バマン)文庫	フェリックス・リーベルマン (Felix Liebermann, 1851-1925) ドイツの歴史学者 イ ギリス法制史研究			英法制史関係文献	3,000冊	リスト	
名古屋大学 ヒルベルト文庫	ダフィット・ヒルベルト David Hilbert, 1862-1943) ドイツの数学者 ゲッティ ンゲン大学教授	名古屋帝国大学理学部数教室 正田建次郎(数学者)がヒルベルトの没後、ドイツ古書店カタロ グを見て購入 名古屋帝国大学数教室の発足にあたって寄贈	昭和 19 (1944) 年頃	ヒルベルトが世界の数学者から献呈 された別刷	11,661冊	ヒルベルト文庫目録, 1971 改訂版, 1983	昭和 17(1942) 年 名古屋帝国 大学理学部
慶応義塾大学 コルディエ文庫	アンリ・コルディエ (Henri Cordier, 1849-1925) フランスの東洋学者	滞欧中の細川護立 (1883-1970) がコルディエ没後に購入し、永青文庫所蔵となっ ていたものを保管公開のため寄託	昭和 48 (1973) 年	東洋学関係の研究書を中心とする洋 書。15 世紀のインキュナブラ、当時 の著名な研究者の論文抜刷を含む	約 5,000 冊	コルディエ文庫分類目録, 1979	
長崎大学 武藤文庫	武藤長蔵 (1881-1942) 長崎高等商業学校教授 明治 44(1911) 年から 3 年間 (米・英・独) 留学 グスタフ・コーン (Gustav Cohn, 1840-1919) ドイツの経済学・財政学、 交通学者 ゲッティンゲン大学教授	長崎経済専門学校 長崎高等商業学校の同窓会・瓊林会が遺族から譲り受け、長崎経 済専門学校(長崎高等商業学校の後身、経済学部の前身)に寄贈	昭和 21 (1946) 年	経済学関係の古典や対外交渉史関係 の資料、長崎関係資料など広範囲な 学問分野	約 10,000 冊	武藤文庫目録, 1973	グスタフ・コーン旧蔵書の 冊数と入手時期は不明
一橋大学 三浦文庫	三浦新七 (1877-1947) 経済学者・経済史 欧州留学 (1903-1911) 東京高等商業学校教授 両羽銀行頭取 貴族院議員	東京商科大学 留学中に蒐集された文献を含む蔵書を大正 12 年の震災で焼失 そ の後蒐集されたものが没後一橋大学に寄贈	昭和 26 (1951) 年	西欧文化史、中国文化史	和漢書 12,028 冊 洋書 5,505 冊	Katalog der Prof.S.Miura's Bibliothek in der Hitotsubashi-Universität, 1960	
広島大学 森戸文庫	森戸辰男 (1888-1984) 経済学者、政治家、教育者	広島大学 大原社会問題研究所研究員として 1921-1923 年ドイツ留学 パン フレット類を収集 広島大学学長退任を機に寄贈	昭和 38-53 (1963-78) 年	社会主義、社会問題、経済学関係	和書 1,302 冊 洋書 1,738 冊 和・洋雑誌 145 種 パンフレット 712 冊	森戸文庫目録, 1973 森戸文庫目録(続) 付: 解説・総索引, 1979	広島修道大学、日本女子大 学にも旧蔵書
首都大学東京 穂積文庫	穂積陳重 (1856-1926) 法学者 イギリス・ドイツ留学 (1876-1881) 東京帝 国大学教授 貴族院議員 枢密院議長。子・重遠 (1883-1951) 法学者 欧州留学 (1912-1916) 東京帝国 大学教授 最高裁判所判事	東京都立大学 穂積陳重から重遠へ引き継がれ、戦災を免れた蔵書を穂積重行より 購入	昭和 38 (1963) 年	18～19 世紀ヨーロッパの民法学・ 法哲学を中心とした稀覯書、貴重書 を含む蔵書	洋書 2,257 冊	穂積文庫目録: 東京都立大学図書館報別冊, 1964	他の旧蔵書は、東京大学、 筑波大学所蔵
関西学院大学 柴田文庫		関西学院大学 北野大吉 (1898-1945) 関西学院高等商業学部教授が英国留学中 (1928) に柴田亨一の援助により購入	昭和 24 (1949) 年	ロバート・オウエン、ウィリアム・ モリス関係文献他	303 冊	柴田文庫目録, 1972	
岡山商科大学 宮田文庫	宮田喜代蔵 (1896-1977) 東京高商で福田徳三の指導を受け、卒業後名古屋高 商、母校の神戸高商、同大学名誉教授、関西学院大学、 追手門学院で経済原論・貨幣論、経済政策論、産業構 造論などを研究・指導 大正末期欧米に 3 カ年留学、 ドイツで哲学の研究	岡山商科大学 没後に生誕の地に立地し、図書充実を期していた同大に移譲れ、 2001 年に全てが追加・寄贈	平成 13 (~2001) 年	経済原論、経済史、経済政策、金融論、 財政学、国際経済学	4,560 冊	宮田文庫目録, 2004	
広島修道大学 陶山文庫	陶山誠太郎 (1894-1974) 元・大阪商科大学(現・大阪市立大学) 教授	広島修道大学 昭和 4-6(1929-31) アメリカ・イギリス・ドイツ留学中に収集		会計学	和書 560 点 洋書 374 点	陶山文庫目録: 広島修道大学所蔵, 1975	
生命保険文化研究所 エーレンベルヒ文庫	ヴィクトー・エーレンベルヒ (Victor Gabriel Ehrenberg, 1851-1929) ドイツの商法・保険法学者 ラ イプチヒ大学教授	日本生命保険相互株式会社 弟子のマーネスが 1926 年ドイツ留学中の野口正造に日本での引 受先相談 1929 年秋に文庫目録送付年末に購入打電	昭和 4 (1929) 年	エーレンベルヒ著作、哲学・社会学・ 経済学、自然科学・文学	4,000 冊	エーレンベルヒ及びマーネス文庫目録, 1955 エーレンベルヒ文庫マーネス文庫蔵書目録, 1969	
生命保険文化研究所 マーネス文庫	アルフレッド・マーネス (Alfred Manes, 1877-1963) ドイツの保険学者 ベルリン大学教授	日本生命保険相互株式会社 1932 年秋頃マーネスより蔵書整理譲渡と日本生命での引受につい て書面と目録が野口正造宛に送付	昭和 7 (1932) 年	保険学・経済学	2,000 冊		
生命保険文化研究所 米谷文庫	米谷隆三 (1899-1958) 商法・保険学 東京商科大学教授 伊・独・仏留学 (1932-1935)	日本生命保険相互株式会社 没後に遺族より譲渡		保険関係図書	和書 1,374 冊 洋書 1,055 冊	図書目録 米谷文庫, 1961	
農林水産政策研究所 東畑文庫	東畑精一 (1899-1983) 農業経済学 東京大学教授 伊・ 独留学 (1926-1930)	農林総合研究所 留学から東京大学退官の昭和 34(1959) 頃までに収集された洋書を 中心とする蔵書が選定され没後に東畑緑の日本人及び本人の著作 を加えて遺族より寄贈	昭和 56-60 (1981-85) 年頃	経済学、ドイツ農業関係、哲学、社会 学、伝記などの洋書が中心	5,127 冊	東畑文庫目録, 1986	

### 3. ヴィーザー文庫文献のほかの大学図書館収蔵との重複概数

図表3 Friedrich von Wieser Bibliothek の総括表

	分類項目	文献数	冊数	書誌ID 登録冊数	備考
I	Nationalökonomie	64	70	40	No.60 は 7 冊
II	Kapital, Zins	25	25	14	
III	Konsum, Produktion	20	20	13	
IV	Krisen	18	18	11	
V	Lohn, Einkommen	26	26	18	
VI	Monographie über Vertreter der Nationalökonomie	52	52	44	
VII	Rente	17	18	15	No.217 は 2 冊で 1ID 登録
VIII	Wert, Preis	110	114	80	No.242 は 5 冊
IX	Bank, Börse	91	91	71	
X	Geld, Kredit	198	202	139	No.534 は 3 冊, 548, 575 は 2 冊
XI	Sparwesen	20	20	15	
XII	Finanzwissenschaft	190	193	98	No.723, 821, 830 は 2 冊
XIII	Gewerbe, Industrie, Handel	95	98	53	No.850, 896, 923 は 2 冊, 899 は不明のため未登録
XIV	Wucher	9	9	6	
XV	Agrarwesen	98	103	74	No.968, 1037 は 3 冊, 1034 は 2 冊
XVI	Sozialwissenschaft	175	183	98	No.1070, 1074, 1081 は 2 冊, 1153 は 4 冊, 1184 は 3 冊
XVII	Soziologie	42	42	25	
XVIII	Armenwesen	25	25	12	
XIX	Bevölkerungswesen	45	46	26	No.424 は 2 点合冊
XX	Frauenfrage	28	28	14	
XXI	Wohnungswesen	51	53	25	No.1372 は 3 冊
XXII	Statistik	84	84	37	No.1401 は不明
XXIII	Politik	71	73	37	No.1495, 1545 は 2 冊
		1,554	1,593	965	

・異なる分類項目で重複する文献

No.25 と No.185, No.284 と No.979, No.850 と No.1495

・分類変更文献

"Bank, Börse" → "Bevölkerungswesen"

341, 348, 357, 359, 360, 363, 365, 371, 378, 380, 385, 386, 387, 391, 392, 406, 408,  
412, 414, 417, 421, 424, 426, 429, 430, 431

"Bevölkerungswesen" → "Bank, Börse"

1286, 1287, 1288, 1289, 1290, 1291, 1292, 1294, 1298, 1299, 1301, 1303, 1305, 1307,  
1312, 1314, 1315

・文庫冊数には不明文献も含む。

図表 4 国内他収蔵文献との重複状況表

		重複冊数	(内数)
ヴィーザー文庫		*966	
小樽商大		66	
北海道大		79	
東北大		25	
	農		18
東大		280	
	経済		248
	法		16
	農		14
一橋大		260	
	古典資料		**318
法政大		42	
名古屋大		85	
	長谷川文庫		49
京都大		283	
	経済		240
	法		14
	農		71
神戸大		125	
	社会		124
大阪市大		154	
阪産大		26	
九州大		160	
	経済		114
	法		23
	農		15
長崎大		20	

[注]

\* 所在不明の1冊を除く965冊を国立情報学研究所データベース CiNii に登録済。

\*\* ヴィーザー文庫収蔵文献とメンガー文庫との重複は318冊、内メンガー文庫のみとの重複確認は122冊。

#### 4. ヴィーザー文庫収蔵を取り巻く教官の動静

上原専禄 (1899-1975)<sup>10)</sup>

1926 年 4 月 7 日 - 1928 年 3 月 25 日 教授就任

「命令簿」

1926 年 4 月 20 日 学友会音楽部長

1926 年 5 月 13 日 校歌選定委員 八木澤誠三郎教授他計 8 名

1926 年 11 月 1 日 調査部設立委員 八木澤誠三郎教授他計 9 名

1927 年 1 月 20 日 学生課物品検閲委員 佐原貴臣教授他計 5 名

1927 年 4 月 20 日 商事研究会委員 八木澤誠三郎教授他計 8 名

1927 年 6 月 16 日 文部省主催成人教育講習会委員 蒲生治郷教授他計 9 名

「履歴書」

1930 年 9 月 10 日 - 1932 年 11 月 30 日 講師

「学校一覧：自昭和 2 年至昭和 3 年」

1927 年 8 月 31 日 現在 図書課長



図表5 高岡高商就任時に提出の上原専禄の業績書

上原専禄 履歴書（一部分）

「自大正14年至昭和17年 退官退職者履歴書綴 高岡高商」より

職歴

- 一、大正11年4月より全年12月まで私立上智大学経済学及商業学講師たり
- 一、大正11年5月より全年12月まで私立青山学院高等学部経済学及商業学講師たり
- 一、大正12年7月文部省在外研究員たることを命ぜられ  
大正12年9月出発 奥地利国、独逸国、英吉利国に於いて  
商業史及び商業政策を研究し大正15年3月帰朝す
- 一、大正15年4月7日高岡高商教授に任ぜらる
- 一、昭和3年3月26日東京商科大学附属商学専門部教授に転任せらる
- 一、昭和4年4月10日東京商科大学予科講師を嘱託せらる
- 一、昭和5年9月10日高岡高商講師を嘱託せらる
- 一、昭和6年3月31日東京商科大学講師を嘱託せらる

業績

- 一、大正12年12月以降 奥地利ウィーン大学ドープシュ教授文明史及経済史研究室に於いて和蘭商業史研究に従事し、大正14年10月同研究室に於いて左記研究成果を発表す  
Beitrag zum Standium der Fuggerzeitungen（独文 未刊）
- 一、昭和2年7月4日先論文脱稿、前掲ドープシュ研究室に送付す  
「大阪株仲間考」（"Die Kabu-nakama genossen s chaften von Osaka in der Tokugawa Zeit"）（独文未刊）
- 一、昭和4年2月1日発行「商学研究」第8巻第4号に「『フッガー時報』に関する一の史料批判的研究」を載す
- 一、昭和4年11月5日発行「文化諸科学論集」に「Fuggerzeitungen 考」を

載す

- 一、昭和4年4月25日左記論文脱稿,「国民経済雑誌」(第47巻第2号より第48巻第3号まで)に載す 「Stift Klosternenburg の Grundherrschaft に就いて」
- 一、昭和6年1月10日左記論文脱稿 東京商科大学専門部商工研究部発行「学生論文集」第3号に附載す 「Höchstift Brixen (Tirol) の Grundherrschaft に関する二三の経済史料に就いて」

官等

- 一、大正15年4月7日 高等官7等に叙せらる
- 一、昭和3年7月2日 高等官6等に陞叙せらる
- 一、昭和5年11月1日 高等官5等に陞叙せらる

位階

- 一、大正15年5月1日 従七位に叙せらる
- 一、昭和3年7月16日 正七位に叙せらる
- 一、昭和5年11月1日 従六位に叙せらる

賞罰

なし

右之通相違無之候也

昭和6年5月20日

従六位 上原専禄 印

高岡高商における上原の著作には、ほかに、以下が現認されている。

「商業政策の手段」カール・ヘルフェリツヒ講述 / 上原専禄訳述,『学友会誌』2, 1-31, 1926年12月

「独逸音楽の発展」カール・ランプレヒト著 / 上原専禄訳,『学友会誌』3, 1-22, 1927年9月

「『富山売業史史料集』の編纂・出版に就いて」上原専禄,『同窓会誌』11, 5,  
1935 年 12 月

[ 参考 ]

図表 6 高岡高商の教官人事 (授業科目)

第 402 号                      10 月 7 日施行    大正 15 年 (1926) 10 月 6 日

10 月 1 日現在教官受持学科日時数調

摘要	時数	官職	氏名
商業学	18 時	教授	矢木澤誠三郎
英語	14 時	教授	蒲生治郷
修身	6 時	教授	谷内正順
歴史	2 時	教授	谷内正順
法律学	21 時	教授	矢口家治
経済学	6 時	教授	佐原貴臣
仏語	3 時	教授	佐原貴臣
英語	11 時	教授	柴宮八十彦
簿記	10 時	教授	栗原邦志
珠算	2 時	教授	栗原邦志
商業算術	10 時	教授	日比野勇夫
工業大意	3 時	教授	日比野勇夫
経済学	12 時	教授	上原専禄
独語	4 時	教授	上原専禄
簿記	6 時	教授	伊藤正一
作文	4 時	教授	伊藤正一
英語	12 時	教授	津田芳雄
体操	12 時	助教授	富永忠臣
露語	6 時	助教授	小林正心
商品学	6 時	講師	依田 愿
化学	3 時	講師	依田 愿
代数幾何	2 時	講師	依田 愿
商業地理	6 時	講師	川連淳一
仏語	3 時	講師	川連淳一
商業学	9 時	講師	細野日出男

支那語	6 時	講師	打田庄六
体操	12 時	講師	小川堅太郎
書法	1 時	講師	林 義幹
国語	1 時	講師	小林正作
漢文	1 時	講師	小林正作
体操	12 時	配属将校	卯野穰二郎
英語	14 時	雇外国人教師	イーケー・ヴェナブルス
独語	2 時	雇外国人教師	イーケー・ヴェナブルス
右報告候也			

以下は、上原専禄関係分のみ記す。

第 190 号            4 月 16 日施行   昭和 2 年（1927）4 月 16 日起案  
 文部大臣宛        4 月 1 日現在教官受持学科目調送付の件        において  
 摘要                時数        官職        氏名  
 経済学及び財政学   3 時        教授        上原専禄  
 商業歴史           6 時        教授        上原専禄  
 選択科目           2 時        教授        上原専禄  
 独語                4 時        教授        上原専禄        の記載がある。

第 457 号    10 月 8 日施行    昭和 2 年（1927）10 月 8 日起案  
 文部大臣宛    10 月 1 日現在教官受持学科目調送付の件    において  
 摘要                時数        官職        氏名  
 経済学及び財政学   3 時        教授        上原専禄  
 商業歴史           6 時        教授        上原専禄  
 歴史                2 時        教授        上原専禄  
 独語                2 時        教授        上原専禄  
 商業学              6 時        講師        城宝正治  
 簿記及会计学       6 時        講師        城宝正治  
 選択科目           2 時        講師        城宝正治        の記載がある。

第 445 号    10 月 8 日発送        昭和 5 年（1930）10 月 6 日起案

文部大臣宛 10月1日現在教官受持学科目調送付の件 において  
「歴史 年20時 講師 上原専禄」の記載がある。

第508号 昭和6年(1931)10月3日 起案

文部大臣田中隆三宛 10月1日現在教官受持学科目調送付の件 において  
「商業史 年20時 講師 上原専禄」の記載がある。

第170号 4月5日発送 昭和7年(1932)4月4日起案

文部大臣鳩山一郎宛 4月1日現在教官受持学科目調送付の件 において  
「商業史 年20時 講師 上原専禄」の記載がある。

第987号 10月6日発送 昭和7年(1932)10月3日起案の

文部大臣宛 10月1日現在教官受持学科目調送付の件 においても、  
「商業史 年20時 講師 上原専禄」の記載がある。

出所：『庶務関係書類 4月、10月1日現在、教官受持学科目時数調』1926-1935

上原専禄が指導した学生の卒業論文は以下の通りであった。

**図表7 上原専禄が指導した卒業論文のリスト**

	タイトル	請求記号
1	長崎ニ於ケル阿蘭陀貿易	099:1:5
2	英国経済学小史(翻訳)	099:1:12
3	明治維新來の農村経済史的考察	099:1:13
4	企業の史的過程及び其趨勢に関する一論	099:1:14
5	消費組合運動	099:1:15
6	我国の開国と関税史	099:1:20
7	英国に於けるギルドマーチャントの研究	099:1:26
8	井原西鶴を通して観たる元禄時代の経済史的研究	099:1:27
9	英国商工業の発達(翻訳)	099:1:30
10	我国食糧政策トシテノ自給主義ヲ論ジ徳川幕府ノ食糧自給政策ヲ検討ス	099:1:38

11	英国産業革命を主題とせる経済思想と社会思想の史的展開に就て	099:1:41
12	マーカンテリズム時代の欧州諸国の商業（翻訳）	099:1:67
13	アダム・スミスの根本思想に就いて	099:1:82
14	ギルド社会主義に関する一考察	099:1:83
15	プロとブルとの階級闘争につき	099:1:94
16	リカード価値論の一視き	099:1:99
17	サウエート・ロシアの新経済政策に就て	099:1:101
18	社会化せる農業労働問題	099:1:110
19	ミル国際貿易論（翻訳）	099:1:110
20	英国の経済学史概論（翻訳）	099:1:116
21	ルソー及び彼の民約論と自由貿易論	099:1:117
22	歴史に於ける倫理と国民経済（翻訳）	099:1:119

## 5. 売葉業について 『富山売葉業史史料集』の刊行（1935年3月）

これについては、「富山大学経済学部五十年史」において取り纏められているので、ヴィーザー文庫収蔵とのかかわりに限り補足しておく。

取り纏めに当たった城宝は、同窓会誌12号で以下のように回顧している。

「広く富山売葉業の各般に亘る共同調査といふのですが、それも間もなく半年ほどにして成果を見ずに挫折して終い、専ら史料の蒐集・整理ということに方針を更新…紆余曲折前後7年」<sup>11)</sup>を待って刊行された。

鈴木校長の「序」から抜粋すると、本事業は「当地方産業調査に関する本校調査課の一事業として計画、資料の蒐集は昭和2年10月頃から、教官諸氏共同し始まった。昭和4年7月以降、昭和9年8月に至る期間は城宝正治教授と上原専禄前任教授が当り、昭和5年、城宝教授留学後は上原教授の手を煩わせる。その間3年間東京商科大学3商学士（増田四郎・村松祐次・上原榮吉）が服する。昭和8年9月以降、城宝教授が継承。索引を作成。矢口前課長、大熊現課長は資料の保管、事務等にあたる。<sup>12)</sup>」

書評は以下の2本が残されている。

幸田成友「高岡高商編，富山賣藥業史史料集，上下二卷，索引一卷」社會經濟史學 5 (7), 868-871, 1935-10-15

宮下孝吉「富山賣藥業史史料集」國民經濟雜誌 59 (5), 701-703, 1935-11-01

[ 参考 ]

資料室所蔵の高岡高商卒論：タイトルに「売薬」を含むものは以下の3点があった。

4 回生 昭和 6 年 山川俊介「富山売薬ノ法律的考察」矢口教授

10 回生 昭和 12 年 河崎勝治「富山売薬懸場の研究」城宝教授

11 回生 昭和 13 年 中林利作「越中配置売薬の将来性」小寺教授 / 向井教授

謝辞) 整理並びに文献照合及び時代考証にあたって，以下の諸氏にご協力をいただいた。

深く感謝します。

洲崎恵三（筑波大学名誉教授） 竹嶋寛（元鈴鹿国際大学教授）

新名俊靖（新制富山大学 1 期生） 戸口拾（画廊・七本杉）

## 注：

- 1) 『高岡高等商業学校一覧自昭和2年至昭和3年』 69頁, 1927.10
- 2) 「高岡高等商業学校創立以降予算一覧表」『富山大学経済学部五十年史』 976頁, 1978.8
- 3) 「フリードリヒ・フォン・ヴィーザー文庫の再整理—データベース構築並びに収蔵経緯の究明」 151-152頁, 『富大経済論集』 58-2, 2012.8

なお、高岡高商が昭和19(1944)年に閉じるときに刊行を前提として取りまとめられた『研究活動史 第一巻 序説』の稿が残されているが、それにもヴィーザー文庫購入に係る記述はない。

- 4) 『富山大学経済学部五十年史』 571頁
- 5) 『高岡高等商業学校史』 4頁, 高岡経済専門学校, 1945.4
- 6) 第二次高等学校令施行と同時に大正8年勅令第120号(同月14日公布・施行)により, 新潟高等学校, 松本高等学校, (再興)山口高等学校, 松山高等学校の4官立高等学校が設立された。全国各地でも従来の官立に加え公私立の高等学校が相次いで増設されていった。
- 7) 高田源清『研究活動史(稿)』 c.1944
- 8) 同上 408-410頁
- 9) 『富山売薬業史史料集』の編纂・出版に就いて」上原専祿『同窓会誌』 11, 5頁, 1934.12
- 9) 「回顧」土生滋穂『富大経済論集』 7-2, 159-160頁, 1934.12
- 10) 第4章「原史料の直接考究を第一義とすること—上原専祿とドイツ中世史研究」, 第6章3「戦時下の上原専祿」土肥恒之『西洋史学の先駆者たち』中央公論新社, 2012.6
- 11) 「『富山売薬業史史料集』刊行の所感」城宝正治『同窓会誌』 12, 16-18頁, 1935.5
- 12) 『富山売薬業史史料集』

提出年月日：2013年9月17日



「ヴィーザー文庫の収蔵状況報告」

正誤表

頁	行	誤	正
200(352)	1	高岡高商就任時に	高岡高商に
206(358)	13	新制富山大学1期生	富山大学経済学部第6回生: 昭和33年3月卒業

『富山大学紀要.富大経済論集』第59巻第2号(2013年11月)